

THE ROTARY CLUB OF KARIYA



Weekly



創立 1954年 3月 8日
承認 1954年 3月 30日

例会日時 毎週月曜日
12:30 ~ 13:30
例会場 刈谷市新栄町 3 の 26
刈谷商工会議所内
事務所 TEL <0566>22-2111
FAX <0566>25-2111
メール kariyar@katch.ne.jp
ホームページ http://www.kariya-rotary.com
会長 杉浦 芳一
幹事 伊藤 節夫
会報委員長 關 淳之

2014 ~ 2015年度 国際ロータリー ゲイリー C.K. ホァン 会長テーマ

Light Up Rotary ロータリーに輝きを

この会報は、地球環境保全に考慮し再生紙を使用しています。

第2872回例会プログラム

[当年度=23回目；当月=1週目]

2015年（平成27年）2月2日（月）

1. 例会……………〈司会：プログラム委員会〉

- 12:28 1. チャイム
12:30 2. 点鐘……〈会長〉
3. 開会宣言
4. 国歌斉唱
5. ロータリーソング斉唱……奉仕の理想
6. 講師・ゲスト並びにビジター紹介
7. 食事
- 12:45 8. 会長挨拶並びに会長報告
9. お祝い
(誕生日祝・結婚記念日祝・入会記念日祝)
10. 幹事報告
11. 出席報告
12. 委員会報告
13. ニコニコボックス報告
14. 次週並びに次々週のプログラムの予告
(2/9) ……
卓話 「オリンピックと私」
講師 元日本生命野球部監督
バルセロナ銅メダリスト
アトランタ銀メダリスト
杉浦 正則 様
(紹介者 埴 栄一 会員)
- (2/16) ……
卓話
講師 地区職業奉仕委員会
前委員長 村井總一郎 様
(紹介者 加藤 哲也 会員)

13:00 15. 本日のプログラム

卓話 「日本とカナダの国際交流
～姉妹都市提携について～」

講師 在名古屋カナダ領事館
領事兼通商代表

マット・フレイザー 様

(紹介者 吉岡 秀記 会員)

16. 謝辞

17. 点鐘……〈会長〉

18. 閉会宣言

13:30 19. 散会

出席

会員総数 94名 出席免除 23名
出席義務者+免除者の内例会出席者 90名
欠席 11名 出席率 87.78%
前々回 (1/19) の修正出席率 100%

会長あいさつ

杉浦 芳一



今日は岐阜県にある苗木城と岩村城のお話です。

苗木城は中津川の本曾川・中山道・下呂・高山へ行く裏木曾街道が見渡せる自然石をうまく利用して作られた山城です。

苗木遠山家1万石の小大名です。1万石の大名は全国に53あったのですが、住居はみな陣屋で城持ちは苗木藩のみしかも遠山家が江戸初期から明治に至るまで外様であっても一系で国替がなかった珍しい城です。

天守閣は大きな自然石の上に建てられていてまるで清水寺の舞台の柱のようです。

岩村城は717mの城山に本丸が築かれた山城で江戸時代としては一番標高の高いところに築城され、明治維新まで存続した城でしたが現在は石垣のみで建物は何も

残っていません。

1990年（平成2年）に山麓部にあった表御門と太鼓櫓が復元されましたが新しすぎて何かしっくりきません。

ただ城跡の石垣がたいへん立派で見ごたえがあります。

1573年武田信玄の武将秋山信友に城を取られました、2年後織田信長に攻略されました。

その時の織田信長の叔母が「女城主」の酒の由来であります。たいへんおいしい酒です。

女城主は大変聡明で美しい人だったようです。

お 祝 い

2月の会員の誕生日…盛田豊一、橋本恭典、岩瀬正人、中林久美、伊藤節夫、加藤大志朗、佐野彰彦会員。

配偶者の誕生日…平野恵子（和一）、野村弘子（重彦）、加藤好子（恒治）、杉浦光子（芳一）、桂木美砂（正樹）、石川ふみ子（覚雄）、塙由美子（栄一）様。

2月度結婚記念日…廣根実、橋典子、桂木正樹、馬場理好、加藤正則、市川裕大、松井秀仁、加藤貴紀、中川耕児会員。

2月度入会記念日…黒田義之、羽田育哉、神谷光義、加藤恒治、加藤真治、市川裕大、神野公秀、杉浦文雄、豊田貴久、牧野健一会員。

還 暦 お 祝 い

岩瀬 正人 会員

卓 話

「日本とカナダの国際交流 ～姉妹都市提携について～」

在名古屋カナダ領事館

領事兼通商代表

マット・フレイザー 様



「カナダへようこそ。ビジネスは私たちにまかせください！」

カナダには成長とイノベーションを求めるビジネスリーダーにとって素晴らしい機会があります。世界でトップレベルの研究と教育、事業関連コスト、リスク、事業税の低さ、

さらに、北米市場へのアクセスの良さを誇るカナダは投資先として大変好まれています。本プレゼンテーションでは、カナダという国を紹介するとともに、カナダがビジネスおよび投資を行う上で素晴らしい国である理由についてご説明させていただきます。

1. 「なぜカナダはG7諸国の中でも事業を行う上で最適な国なのか？」——ビジネスのやりやすさ、好調な経済成長、金融の安定性、主要市場へのアクセスの良さ、教育水準の高い労働力をはじめとする、投資企業

にとっての主要なメリットをご説明させていただきます。

2. 「カナダに拠点を置くメリットは何か？」——事業関連コストや法人税の低さなど、カナダが投資先として好まれる主要な理由をご紹介します。

- ロシアについて世界第2位の国土に3500万人の人口
- 10州と3準州からなる連邦国家

- 英語とフランス語2つの公用語だが、200以上の言語が話されている→わかりやすい英語の発音

カナダは世界中から魅力ある事業展開先として評価されており、事業競争力に関する研究ではカナダは常に投資先として最適な国のひとつに挙げられています。

- IMFによると、カナダはG7諸国の中で政府純債務の対GDP比率が最も低い。

- EIUが、今後5年間（2011年～2015年）のビジネス拠点としてカナダをG7諸国の中で第1位にランク。

世界のビジネスリーダー達は成長を求めています。成長を達成する最も効果的な方法は、高い成長率を遂げている国に進出することです。世界最高水準のカナダ経済は、先進諸国の中でも有数の成長見通しを投資企業にもたらしめます。過去10年間で、カナダ経済は平均してドイツおよび日本の2倍、さらに、イタリアの20倍のスピードで成長しました。

世界のビジネスリーダー達は常にイノベーションの精神を追い求めています。カナダにはそれが 있습니다。

カナダはイノベーション大国です。カナダは経済に占める高等教育研究開発投資が他のG7諸国より多く、カナダの都市は国際的な主要イノベーションセンターとなっています。

- バンクーバーは燃料電池関連の特許出願件数が北米で第1位

- トロントは自動車部門の特許出願件数が北米で第3位

- モントリオール、バンクーバー、トロントはライフサイエンス分野の特許出願件数で北米の上位10都市にランクイン

- カナダは1人当たりの科学論文発表数がG7諸国の中で第1位

世界のビジネスリーダー達は事業の世界展開を最短で実現する方法を求めています。ビジネスのしやすさこそが外国企業にとっての大きな魅力です。カナダに拠点を置く場合、海外企業は連邦政府または州政府に対して企業登録するだけでいいのです。カナダでは平均して、1回の手続きだけでビジネスを立ち上げることができ、その所要日数は全体で5日程度です。

世界のビジネスリーダー達は、現代の経済で競争優位性を獲得するために貢献できる有能かつ創造的な人材を探し求めています。

高い技術を持ち、多様な文化的背景を持つカナダの労働力は、国際企業が他の国ではなくカナダを選んだ理由として挙げる主な理由のひとつです。カナダには公立の児童教育プログラムをはじめ、学習文化が根付いています。さらに、大学教育のみならず、技術教育にも力を入れた柔軟な高等教育が行われています。カナダには高学歴のみならず多様な文化的背景を持つ労働力があります。

カナダ国民の約20%、つまり650万人近くの人々は英語またはフランス語以外の母国語を話します。カナダでは、アジア圏の言語およびヨーロッパ圏の言語が幅広く使用されています。このような多様性は外国企業にとって大きな財産となります。グローバルなスキルが求められる場合でも、多様な民族からなるカナダの労働力はさまざまな企業風土にも精通しているため安心です。

企業の借り入れコストが低い。カナダの銀行システムは世界経済フォーラムにより3年連続（2008年、2009年、2010年）世界で最も健全であると評価されました。グローバルファイナンス誌が発表した世界で最も安全な銀行50行の中にもカナダの銀行が6行含まれていました。カナダでは金融危機による影響は他の先進国よりはるかに小さく、低い借り入れコストや安定した信用成長を維持しています。カナダの金融システムは世界のリーダー達から見習うべき手本として称賛されています。

次に、カナダに拠点を置くことでどのようなメリットがあるかについて、理由を挙げさせていただきます。

- 事業関連総コストがG7諸国の中でカナダが最も低い。人件費、輸送費、水道光熱費、税金は海外企業の収益にとって重要な要素です。カナダにはG7諸国の中でも最も優れたコスト構造が存在します。
- カナダでは製造関連の関税がゼロ。カナダは貿易や投資に対する障壁の撤廃に向けた措置を進めています。カナダ政府は2010年度予算の中で、すべての製造業投入物に対する関税を2015年までにゼロにする新たなイニシアチブを発表しました。

カナダは投資先として外国企業から非常に人気があり、これらの企業は米国に隣接していることと、圧倒的なアクセスの良さを活用するために、カナダに拠点を設けています。カナダは4億5,000万人の消費者を抱える統合市場（NAFTA）に加盟しています。カナダは、北米と、横浜をはじめとするアジアの主要港との間の最短航路を活用出来るという点からも大きなメリットがあります。事実、カナダの主要生産拠点は米国の生産拠点より米国内の主要な市場に近い距離に立地しています。カナダの主要20都市のうち、17都市が米国との国境から車でわずか1時間30分以内の場所にあるのです！

世界のビジネスリーダー達や有能な従業員達は高いクオリティ・オブ・ライフを求めています。

カナダは世界でも最高水準のクオリティ・オブ・ライフを誇り、常に世界のトップにランクされています。

カナダは「安定した食品供給国」

- これまでカナダと日本のビジネス界はEPAの必要性を指摘してきた。共同発表、プレスリリース
- 2007共同研究：経済提携強化への基礎を提供。
- 2012共同研究：包括的かつハイレベルなEPAの交渉開始への到達
- 2012年3月25日：ハーパー首相、野田首相による日加自由貿易交渉開始
- 2012年7月4-5日：第25回日加経済協力委員会
- 2012年11月：第1回目の交渉終了

カナダは「資源超大国」

- 原油埋蔵量は世界第2位（生産量は第7位）
- 天然ガスの生産量は世界第3位
- コークス用炭とウランの生産量は世界第2位
- 世界の約20%の淡水がカナダにある
- 低コストでクリーンな水力発電が盛ん（ブリティッシュ・コロンビア州、ケベック州の水力発電）
- 世界の森林の約10%がカナダにある